

玉垂



田遊び神事

<http://www.okunijinja.jp/>

ご挨拶

小國神社宮司 打田 文博

皆様方におかれましては、平成十六年甲申歳の新春を穏やかにお迎えになられましたことと拝察申し上げます。そして氏子崇敬者各位の御健勝と御多幸をお祈り致します。

今年のお正月は、前半は暖冬で特に三ヶ日は近年にない暖かな日和となり、境内は老若男女の初詣で賑わい活気にあふれた御社頭となりました。当社では、正月恒例の祭典を順調に御奉仕申し上げ、一月六日には、本宮山奥警戸神社の御例祭も滞ることなく斎行致しました。

昨年は小國神社悠久の歴史の中で特筆すべき一年となりました。それは申すまでもなく、秋篠宮同妃両殿下の御参拝並びに十二段舞楽の御覧であります。さらに、「NEW!!わかふじ国体」に幸啓遊ばされました天皇皇后両陛下より幣饗料を賜わり、いずれも臨時祭を斎行致し大神様にご奉告申し上げた次第であります。

さて、世情は年頭の穏やかな幕開きとは裏腹に気掛かりな出来事の連続でした。元旦、首相の靖国神社参拝が報じられるや、中国、韓国などが、「国民感情を傷つけられた」とオーム返しに抗議が始まる。すると日本の一部マスコミは、それみよがしにさらに煽る毎度のことではあるが誠に不愉快です。いまさらの感はあるが、あえて言わせてもらえば、彼らはいわゆるA級戦犯の靖国神社祭祀を問題にする。そもそも戦死者をどのように慰霊するかは国内問題であって他国からとやかく言われることではありません。さらに戦犯はあの東京裁判によって作り出されたがその裁判自体、国際法を無視した報復のための裁判であったことはすでに学会の定説です。また、あのマッカーサーですら後に「東京裁判は誤りであった」「日本の戦争は自衛のための戦いであった」などと証言しています。すなわち、国際法上の戦犯はありえないのです。しかしながら、ポツダム宣言がゆえに判決に従い、死刑などによってその罪をつぐなわされているのです。これ以上、法的にも道義的にもだれが文句をいえる



田遊び神事（1月3日）



事待池（1月17日）



御弓始神事

のかと言いたいし、なにより護国の英霊に申し訳ない気持ちにかられます。

又、年明け国会ではイラク問題、取り分け陸上自衛隊の本隊派遣をめぐり紛糾が続いています。派遣を是としない政党は憲法解釈論や説明責任論などあの手この手で論争を仕掛けていますが、その内容はあまりにお粗末で、未熟な国家をさらけだしているようで心配です。同時に国会における論点が国民意識と遊離しているように思えてなりません。

元日の新聞に世論調査の結果が報道されました。憲法改正「容認」八十％・自衛隊「明記」五十九％です。すなわち世論の現実には、イラク復興支援に日本も貢献すべきと考え、国際化社会に対応するため憲法は解釈ではなく改正を指向しているのです。これが国民の目線なのです。

自衛隊員を送る家族が言っていた「お父さんも日本を代表して頑張るのだから、家族も団結して頑張る…」は印象的でした。政府や国会もこのコメントを正面から受け、国家として何が出来るか現実的な論議と実行に向けた国会審議に期待したいものです。

今年の目標は「本質を見据えた行動」にしたいと思います。

どんど焼祭の齋行

例年当社では、小正月（二月十五日）過ぎの日曜日午前九時より、参道脇の事待池前に特別に設けました古神札納め所にてどんど焼祭を齋行いたします。祭典では清らかな火をおこし点火神事を行います。本年は、一月十八日午前九時三十分より、多くの方にご参列いただき齋行いたしました。齋行時間にご参拝いただければ、どなたでも参列していただけます。

俗にどんど焼は、主に正月の注連飾りを燃やし、その煙に触れることにより一年健康で暮らすことができること云われています。また、書き初めを燃やし、煙が上昇するところから字が上達するとも云われています。当社では、注連飾りの他に年間お世話になった神札やお守り、破魔矢や開運熊手・開運だるま等の縁起物も一緒に感謝をしてお焚き上げております。

祭典後は、当社の氏子青年会会員のご奉仕により、その火を用いて午後三時頃までどんど焼が行われます。またその間、おはたき餅を一個百円にて授与しています。この餅を食べますと家内安全・商売繁盛・開運厄除等のご利益があるといわれています。自分の背丈よりも長い竹の先につけて、お焚き上げをしている火であぶり、楽しそうに食べている姿が見受けられました。年々餅が無くなる時間が早まり、近年は昼過ぎにはすべて無くなってしまいうようです。毎年、このお餅を目当てに

節分祭の齋行

去る二月三日は晴天に恵まれ寒さも緩ぎ穏やかな一日となる中、午前十一時より振興会、甲子講話人の節分祈禱、午後二時より節分祭が執り行われました。参加申込をされた一〇六名の年男役、年女役が色とりどりの大紋の衣装を付けて参列。祭典は祝詞奏上に続き拝殿の外ばめを柳苜でたく追儺神事や豆撒神事、年男役、年女役の弥栄を祈念する宝槌打振神事や福笑い唱える声も高らかに威勢よく行われ

来られる方も少なくないのでは。一年間の無事を感謝し、その年の無事を祈念するためにもご参拝いただければと思います。

尚、古神札納め所は、拝殿横に常設しておりますので年間いつでも納めていただいて結構です。



どんど焼き（氏子青年会奉仕）

ました。引き続き拝殿前での記念撮影の後、舞殿及び特設舞台での豆撒きが行われ参列者は無事に厄を祓い、清々しい気持ちの様子でした。また一月二十六日から二月三日まで厄除け大祭期間にあたり、本年はテレビCMや折込チラシなどの実施を致しました。厄年をはじめ、八方塞がり、黒星の方などその年の無事を願おうと多くの方がご祈禱に訪れました。厄除のご祈禱は期間外でも毎日ご奉仕しております。



師走の大祓式齋行

毎年、六月三十日と十二月三十一日の年の節目に、身心ともに清らかな姿に立ち返り、新たに健全な生活をおくるため大祓式を齋行いたします。内容は個人個人のそれまでの少なからず身についた罪やけがれを人形ひとがたといわれる型代につけ、川に流して祓い清めるもので古くは国家的行事でもあり、現在も神社を中心に各地で行われている伝統的な神事です。祭典や祈禱の際受け



師走の大祓式（雨儀）

られるお祓いを、より具体化したものとお考えいただければと思います。また、人形ひとがたは、雛人形の原形となったもので、わりと身近なものだともいえるでしょう。

一昨年より当社でもこの人形ひとがたを用いて大祓式を行っておりますが、徐々にご参加・ご参列いただく方も増えてきております。昨年大晦日の大祓には、一〇〇件を超えるお申込みをいただき、更には当日、生憎の天候にも拘わらず一〇〇名程の方々がご参列される中、式を行っていました。

六月の大祓は、特に夏越の大祓といい、人形の他に直径一メートルの茅輪をくぐる神事も行われます。

大祓式についてご理解いただければ、どなたでもお申込みいただけますので、お問い合わせ下さい。人形ひとがたは一、二ヶ月前より、社頭または郵送にてお領けいたしております。

新嘗祭の斎行 奉納農産物品評会の表彰

晴天に恵まれた去る十一月二十三日、新嘗祭が斎行されました。殿内には氏子の皆様より奉納されました農産物をお供して祭典が行われ、大神様に豊穣の感謝を申し上げました。また、舞殿横では奉納農産物品評会が開催され、午前十一時より即売が行われました。ここに本年の品評会のご報告を掲載させていただきますとともに厚く御礼申し上げます。

- 〈協力賞〉
- 第一位 牛飼 部農会
 - 第二位 上川原部農会
 - 第三位 中川上部農会
 - 第四位 谷崎 部農会
 - 第五位 田田上部農会
- （敬称略）



奉納農産物品評会の展示



参集殿うらの紅葉（平成15年）

- 〈小國神社賞〉
- メロン 米倉 平田 一利
 - 大根 赤根 小池まさ子
 - 米 田田上 鈴木 紀雄
 - 茶 中川上 本多 利吉
 - 白菜 中川上 石黒 朔郎
- 〈遠州中央農協長賞〉
- 生姜 宮代東 高木 千秋
 - 大根 大久保 天野 誠策
 - 大豆 草ヶ谷 佐野 信男
 - レタス 谷中 村松 久雄
 - 柿 谷中 朝比奈弘子
- 〈小國神社振興会賞〉
- 白菜 片瀬 大場 篤
 - 米 大久保 榊原 淑友
 - メロン 米倉 平田 秀幸
 - 里芋 赤根 鈴木 正利
 - 馬鈴薯 中川上 小林 利雄
- 〈秋篠宮同妃両殿下御参拝記念特別賞〉
- 米倉 山本 光男

篤志奉納者に感謝状の贈呈

十一月二十三日、新嘗祭斎行に併せ篤志奉納の方々に感謝状と記念品が贈呈されました。この贈呈式は、その年に多額の浄財及び祭器具等の物品をご奉納戴きました方々をご神前にてご報告させていただき感謝申し上げます。本年、ご奉納戴きました神饌米は恒例祭典を始め毎日執り行う日供祭にてお供えさせていただきます。ここに「芳名を記載し、改めて厚く御礼申し上げます。」

- 神饌米 栗田 操 (大久保)
 - 神饌米 鈴木 孝 (田田下)
 - 神饌米 石橋 寛一 (米倉)
- （順不同・敬称略）



古代の森シリーズ 10

山神社

山神社は山の神様（大山祇神）をお祀りする境内外末社の一社で、慶長五年（西暦一六〇〇年）の絵図にも描かれている往古よりのお社であります。神沢口駐車場前の道路を北に進み、カーブを過ぎたところで進路を左手にとり川沿いの林道を数百メートル進むと右側斜面の中腹に鎮まります。戦後、事情により山神社が鎮まる神沢地区の山林は町の財産区に指定されましたが、その後もこの社有地となり、平成八年十一月七日に八王子社より遷宮復興されました。山の神様は春に山を降りて田の神となり、秋には再び山に戻って山の神になるといわれます。里の人々にとって、山の神様は稲作に最も重要な水をもたらす稲田の成育を守る守護神として敬われています。例祭日の十一月七日には山の講が行われ、山での仕事を慎み日ごろの感謝と労をねぎらつて酒肴が催されます。神沢地区に育む豊かな自然は、神社の屋根に必要な檜皮の宝庫であり檜皮葺職人の演習場としても活用され、技が受け継がれています。





「秋の写真コンテスト」のご報告



昨年の紅葉は天候不順により、全国的にみても色づきが様々で色がつききる前に落葉する傾向が見られました。当社、古代の森の紅葉もその影響を受けましたが、県内外よりお寄せ下さいました一五四名の皆様から、四十一枚もの作品のご応募がありました。

作品を拝見しますと一昨年にくらべ紅葉条件のきびしい中にも、応募者の感性と努力が表現され、写真の難しさを感じとりました。先日、開催しました写真コンテスト実行委員会による審査会においても入賞選考が難航し、幾度となく見直しがありましたが、満場一致で各賞が次の通り決定しました。(敬称略)

最優秀賞 岩本 雅志(森 町)
 優秀賞 石上 勇(藤枝市)
 特別賞 榊原真由美(浜北市)
 入選 鶴見 昭敏(森 町)
 伊藤 和己(静岡市)



鶴見 昭敏「小さい秋みつけた」



榊原 真由美「雨上がりの橋」



石上 勇「事待池の朝」

二月下旬には、入賞者の授賞式を開催致します。写真展は三月二日(午後)より三月十四日(午前)までの期間、森町文化会館一階の壁画前にてご覧いただけます。

また、本年も「秋の写真コンテスト」を開催致しますので多数の作品のご応募をお待ちしております。尚、開催にあたりご協力下さいました各後援・協賛者の皆様方に改めて感謝申し上げます、厚くお礼申し上げます。

鶴飼 康弘(浜松市)
 加藤 徳治(菊川町)
 小林 勤(浜松市)
 小山 勝二(浜北市)
 鶴見理久之(森 町)
 名村 誠(浜松市)
 中村 裕一(雄踏町)
 山田 英雄(静岡市)
 横尾 光男(浅羽町)



岩本 雅志「橋の上で」

まつり歳時記

三月〜六月

三月

弥生

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 十七日 真田城趾慰霊祭 (午前十時半)
- 十七日 鉾執社例祭 (午後一時半)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十日 春季皇霊祭遙拝式 (午前九時)
- 二十八日 崇敬会大祭 (午前十一時)

四月

卯月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 四日 さくら祭 (午前十時半)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 六日 勸学祭 (午後二時)
- 八日 杉 祭 (午前九時)
- 八日 全国一宮等合殿社例祭 (午前十時)
- 十五日 甲子祭 (午前九時)
- 十五日 垢離祭 (午前十一時)
- 十五日 舞 揃 (午後二時)
- 十七日 献詠祭 (午前九時)
- 十七日 前日祭 (午前十一時)
- 十七日 氏子入り報告祭 (午後二時)
- 十七日 十二段舞楽奉奏 (午後二時)
- 十八日 例 祭 (午前十時)
- 十八日 神幸祭 (午後二時)
- 十八日 十二段舞楽奉奏 (午前十一時)

五月

皐月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 五日 こども祭 (午前十時)
- 六日 本宮山青葉祭 (午前十一時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)

六月

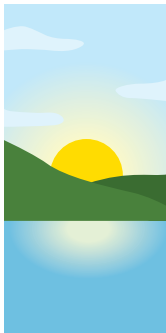
水無月

- 一日 月次祭 (午前九時)
- 一日 花菖蒲園開園奉告祭 (午前九時)
- 五日 花菖蒲観賞祭 (午前十時半)
- 六日 本宮山月次祭 (午前十時)
- 六日 花しょうぶまつり (午前十時半)
- 十四日 甲子祭 (午前九時)
- 十八日 月次祭 (午前九時)
- 二十一日 御田植祭 (午前九時)
- 三十日 夏越の大祓式 (午後三時)



門松の奉納

門松の青々とした松と竹との組み合わせをみると、新春を寿ぐ標として清々しく目に映じます。『徒然草』にも正月の様子を“松立てわたして(門松をずっと立て連ねて)、はなやかにうれしげなるこそ、またあはれなれ”と詠まれています。当社では、長年に亘り山本時春・鈴木勝一両氏により製作奉仕を賜り、第二鳥居の所へ据え置かれます。門松は本来、歳神様の依代(よりしろ)・清浄な祝いの神木として、松に限らず松や杉・榊・椿といった常緑樹が用いられ、四時色を変えない生命の木・永遠性の象徴として崇められてきました。また門口だけでなく床の間や台所・風呂場等に歳神様を迎え入れる風習は現在も各地にみることができま



稚児行列奉仕者の募集

四月十八日(日) 午後二時より神幸祭(おわたり)を皇行し、勅使行列・稚児行列を執り行います。

つきましては本年も、行列に参加される稚児を募集しておりますので、ご希望の方は当社までご連絡ください。

電話 ○五三八一八九七三〇二

募集要項

- 一、対象者 小学校三年生位の男女
- 一、参加費 五、〇〇〇円
- 一、募集人員 先着二十名
- 一、申込締切 四月十日





願かけ絵馬



奉納絵馬



三月下旬頃になると境内を流れる宮川沿いの桜が一斉に満開を迎えます。染吉野や寒緋桜、しだれ桜等をはじめとするこれらの桜は通称「一宮千本桜」と呼ばれ親しまれております。

この「一宮千本桜」の下、当社では毎年「一宮さくらまつり」を開催致しております。当日は拝殿前の舞殿で琴と尺八の奉納演奏、また正面駐車場の特設ステージでは数々の催し物を行いますので、ご参拝の皆様にお楽しみいただけます。

本年は四月四日(日)に行いますので、春の穏やかな一日を桜満開の小國神社でお過ごしになられてはいかがでしょうか。

一宮さくら祭

ご祈禱の礼状一新の紹介



命名

平成十五年十一月一日

～平成十六年一月三十一日

山本 篤	畑中 康佑	太田 賢宏	名倉 運司	大場 咲良	村松 和波	平澤 穂風	竹下 留香	杉山 慶弥	高曾根 駿	窪野 楓佳	窪野 杏香	小杉 啓太
榛原町	豊川市	袋井市	浜松市	神奈川県	森 町	掛川市	森 町	掛川市	浅羽町	袋井市	袋井市	浜松市
増田 実桜	青木 乃愛	小島 大知	平山 紗帆	太田 脩人	八木 杏実	森下 陽菜	鈴木 陽登	山本 和奏	加茂 駿一	後藤 陽莉	鈴木 雅嵩	村松 怜
榛原町	袋井市	東京都	愛知県	浜松市	掛川市	森 町	浜松市	掛川市	細江町	磐田市	島根県	浜北市
			坂本 悠真	大場 悠衣	佐藤 琉生	山本 葉月	木下 結理	岩瀬 充輝	藤井 あおい	赤堀 聡哉	岡部 真拓	弓桁 里加
			浅羽町	豊田町	森 町	袋井市	掛川市	掛川市	森 町	小笠町	大東町	掛川市

○当社では、お子様の命名を申し受けております。

「小國の杜・点描」

春蘭 (しゅらん)

ラン科シユンラン属 常緑多年草

山地のやや乾いた場所に生え、觀賞用にも栽培されます。春に他のランに先駆け、斑点のある淡黄緑色の花を開き、ほのかな香気があります。ホクロ・ジジババ・ハックリバアサン等の地方名も豊かですが、自然開発や乱獲で自生地は珍しくなりつつあります。

水仙 (すいせん)

へヒガンバナ科スイセン属 多年草

“水仙”は水中の道者や川の神のことでいわれ、雪中花・春玉・雅客との別称もあります。ギリシア神話では美青年ナルキッソスの花として知られていません。日光を好み、神秘・気高さ・自尊



春蘭



水仙

心・自己愛といった花言葉があてられ、古くから生け花や茶花に多く用いられています。

万両 (まんりょう)

ヤブコウジ科ヤブコウジ属 常緑低木

高さ50〜100cm。葉は厚く波状の縮れた鋸歯があり光沢があります。七月頃、枝先に白い小花をつけ、秋から冬に赤い果実が熟します。センリョウ科の千両よりも実が美しいことからの命名といわれ、正月の縁起植物として飾られます。



万両

梅木苔 (うめのきこけ)

ウメノキゴケ科 大形葉状地衣

梅や松等の古木に生えることが多く、空気の清らかな所を好み、大気汚染の指標植物とされます。正月の生け花で“苔松”・“苔梅”と呼ばれるのは、このコケのついたもので野趣を感じさせるものとして重宝されます。



梅木苔

巫女さんの想い

皆様、お正月はどうお過ごしになりましたか。私達は、ご祈祷の舞の奉仕を始め祈祷受け付け、御守り授与等忙しく新年を向かえました。今年のお正月は、例年になく暖かい日が続き、ご参拝の方が大勢お見えになりました。新しい年を向かえ、今まで以上に清々しくお参りできますように職員一同力を合わせご奉仕していきたく思います。(Y)

編集後記

○「玉垂」十号をお届け致します。今号には「秋の写真コンテストのご報告」を掲載致しました。当社は秋に限らず、一年を通して四季折々の風情が味わえます。皆様からの風景写真の投稿をお待ちしておりますので、是非編集部へお寄せ下さい。

○早いもので十号の発行となりました。皆様お楽しみいただいているのでしょうか。毎回新鮮な感覚を失わないようにしておりますが、言葉と写真により真実を伝えることの難しさを実感しております。

表紙写真について

平成十六年一月三日(土)午後二時、舞殿においてご奉仕されている「田遊び神事」と社頭のご参拝状況を撮影いたしました。穏やかな天候で多くのお参りがありました。

平成十六年二月十八日
「玉垂」(たまたれ) 第十号
発行 小國神社本廳総長 工藤 伊豆
発行 小國神社社務所
郵便番号 四三七一〇二二六
住所 静岡県周智郡森町一宮三九五六一
電話番号 〇五三八(八九) 七三〇二
FAX 〇五三八(八九) 七三六七
印刷 (株)サインオフィス エム・エス・シー